

かさおか



「新年ごあいさつ」

会長 榊平 一平

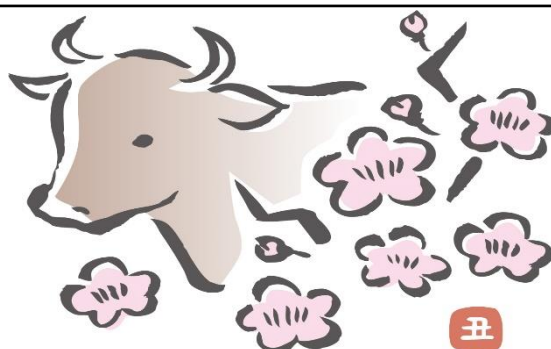
新年明けましておめでとうございます。

笠岡地区の皆様には、健やかに初春をお迎えのことと存じます。日頃は笠岡地区まちづくり協議会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナによって社会生活が大きな影響を受け、未だ終息の見通しが立たないため不安が長く続いています。

こうした中で、2月の第3回防災学習会後、まち協の活動にもブレーキがかかり、6月の総会は止む無く書面会議となりましたが、11月には文化部会が井戸会館で「笠岡町の諸霊場写真展」を開催することができました。また、12月には子育て部会と笠小PTAの共催による「第7回子どもふれあい祭り」を小学校体育館で開催し、遊び方を工夫することでコロナの感染対策を行い、約70人の親子で楽しく過ごしました。

主な活動のみのご報告でありましたが、どうか本年も温かいご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。



丑

昨年中は何かとお世話になりました
本年も何卒よろしくお願いたします
役員一同

駅前コラボ in 笠岡

「クリスマスイルミネーション」



1・2月の行事予定



- 1月23日(土) 13:30～
まちづくり活動報告会を予定
笠岡市民会館大ホール・ホワイエ
- 2月3日(水) 18:30～
令和3年第1回総務部会を予定
- 2月14日(日)
9:00～第1回役員会を予定
10:00～防災学習会を予定

『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地
「井戸会館」内
電話：63-5949
Fax：75-0101
E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp
開館日：月・水・金曜日の
14時～17時まで

「笠岡町の地名」その 9

～古城山下 続き～

【義民の碑】種麦事件の刑死者、久兵衛・義兵衛を義民とした犬養本堂の書になる義民の碑は、タカオウ宮華表（鳥居）前北側にある。木堂は小田県庁に出仕したころ、出部屋（山足氏）に十六歳より二年ばかり下宿し、東上後も交際があった。タカオウ宮作事の棟梁との縁故と、大正七年建碑のころこの宮は桜の名所であったので、ここに碑がある。

【彰善館】称念寺境内の南西隅にあった柔道道場を昭和十五年ごろ移した。剣道道場は川辺屋町長野杉平氏が設けた玄武館があった。

【関亮翁の墓】関藤政信の次男、小寺清先の甥、末弟は関藤藤陰。通称立介、名は政方、号は葭汀、嘉平田屋、難頭樹屋、政三千、政御路という。医師を業とし、晩年亮翁と称す。

わか魂の行へはいつくしら雲の
たたむ山べの松のした陰

と辞世して万延二年（1861）正月二十二日、七十六歳で没し、遺言で古城山下のここに葬った。

古城山：笠岡 2362～2386 番地

土地の人は城山（しろやま）と呼ぶ。高松城の別名があり、古城山は官用語である。

この地方は、陶山氏の支配地であったが、水軍の能島村上氏に押され、永禄年間にはその従属下にあった。厳島合戦（弘治元年=1551）の後、村上大和守武吉が古城山の海松ヶ岡に砦柵を構え、叔父・村上右近大夫隆重（宗勝）を駐めた。

隆重の没直後の天正四年（1576）隆重の嫡子八郎左衛門尉景広が坂木津川口の戦いで大功をたてて以後、実力を備えてからは笠岡の城主となった。

慶長四年（1599）この城は毛利大蔵卿元康の持ち城になったが、翌年毛利家西遷後は、幕府側の備中代官小堀新助・作助の支配、元和二年（1616）八月池田備中守が入部し、元和四年池田氏が備中松山（高梁）へ所替えまで在城したが、以後廃城となった。

昭和二十七年に末新田（住吉町）から、古城山の南を通り、伏越港への海岸道路が新設せられて出来た

行政区分による現在の地番		
本 町	2245	～ 2260- 2
住 吉	2261	～ 2264-23
本 町	2265-1	～ 2330- 2
伏 越	2338-1	～ 2367
住 吉	2369-1	～ 2481-18



土地は、古城山下に入れないで古城山に編入した。

【稲富（いなとみ）稲荷宮】京都伏見の稲荷神社から勧請した宮である。伏見稲荷は本来は中国の渡来民秦氏の中家忌寸（ナカヤノイミキ）伊呂具が祀った秦氏の祖神であった。祭神を宇迦御魂（ウカノミタマ）神・佐田彦神・大宮能亮神に替えてから社格が昇り、一般の信仰の高まりもあって、朱雀朝にはついに正一位を得た。

稲荷信仰は神明の徳を本社・お塚・及び勧請の三型式を拝む独特なもので、お塚・勧請祠には地名・吉祥名・希求名・職業に関連した名等の名称が冠せられる。稲富の称も豊饒を祈る信者の願望を表している。

永禄年間、村上氏が手討ちにした家臣の慰霊に建てたともいうが、慰霊に稲荷勧請は許されない。ただし慰霊のため設けた祠に赤鳥居を立てたため稲荷と誤称せられる例は時々ある。それにしても「正一位稲荷大神」の神階書は本社が出さない。

～次号に続く～

【参考文献】笠岡史談「旧笠岡村地名考」岩山保志



義民の碑



彰善館



関亮翁の墓



稲富稲荷宮

「編集後記」

昨年からコロナ禍が続いており、いつもとは違った新年を迎えました。

“マスク”でお互いの笑顔が見えない寂しさもありますが、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

I・M

みなさん！

寒いからと家に閉じこもらず、暖かい日には散歩や運動で気分転換、ご飯もおいしくいただけますよ！



令和2年の活動記録

くらし部会

第3回防災学習会
2月16日(日)
井戸会館2階・集会室



「防災意識は自分事」一人一人が自分と自分の身の回りの防災を考えて、災害に対する心構えを持つことで被害を最小に抑えることができます。また、日頃から外出して地域とつながりを持ち、自分の存在を近所に知ってもらうことも大切です。

文化部会

笠岡町の諸霊場写真展
11月23日(月)～28日(土)
井戸会館2階・集会室



笠岡町に点在する「西国33番札所」「坂東33番札所」「四国88カ所霊場」「六十六部供養塔」「地神塔」の石仏や祠を探し出して昨年度にマップと手引きを作成しました。

そして、この写真約120点を展示して期間中には約90の方にご来場いただきました。紙面を借りてお礼申し上げます



第7回子どもふれあい祭り

12月13日(日)・笠岡小学校体育館



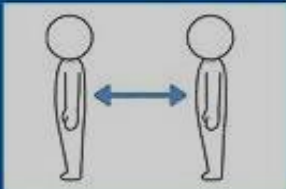
コロナ禍で行事の中止も考えましたが、子ども達の思い出作りのため、会場の広い小学校体育館で新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、遊び方も工夫して「プラ板作り」と「羽子板作り」を約70人の親子が楽しくふれあいました。

ウィズコロナ、今回の経験をこれからの活動に生かして行けたらと思います。



**新型コロナウイルスの
感染防止に努めましょう！**

人との間隔は2m
(最低1m) 空ける



症状がなくてもマ
スク着用



手洗いは丁寧に



こまめに換気



毎朝、体温測定・
健康チェック



買い物は1人です
いた時間に



感染が流行して
いる地域への移動は
控える



すいた時間を選んで
運動

